




第2次総合計画施策評価シート《令和5年度分》

施策コード	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち										
3 — 2	施策目標	2	生涯学習の充実										
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する												
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する												
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する												
													

目指すべきまちの姿	誰もが生涯にわたって主体的に学び続け、その成果がまちづくりに活かされるような、学習環境が整っています。											
-----------	-----------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●主要施策と概要【PLAN】		この1年間の成果及び反省点【DO】			担当課	評価 【CHECK】
(1) 生涯学習に関する指針の策定・推進 ・本市の生涯学習施策の総合的な指針となる生涯学習推進計画を策定し、生涯学習施策を体系的に推進します。		生涯学習推進計画の策定に際し、市内小中学生に対しアンケートを行い、アンケート結果を基に制度について検討し基本案を作成した。より良い推進計画の策定のため、基本案について関係各所の意見を精査する必要があります。			生涯学習課	C
(2) 生涯学習講座・教室の充実 ・自らの地域の歴史・文化を学ぶことのできる生涯学習講座を企画し、学習機会の充実を図ります。また、図書館では、読書会やおはなしの会を通して、親子、仲間と本とふれあう機会を増やします。		地域の歴史・文化を学ぶための生涯学習講座として、「弥富ふるさと探検隊」で明治の東海道と前ヶ須宿などの講座を開催しました。今後も地域の歴史・文化を学ぶことができる生涯学習講座を企画し、学習機会の充実を図る必要があります。			生涯学習課	B
		読書会は引き続き年間を通じて開催しました。コロナ禍により中断していたおはなしの会については、スキルアップ講座を開催して2グループを復活させ、読書活動の充実を図りました。			図書館	C
(3) 関連施設の計画的な改修・設備修繕 ・安全で快適な学習環境を提供するため計画的な施設改修・修繕を図ります。		老朽化した中央公民館土間タイル修繕やスプリングラ修繕、音響機器修繕を行い、施設利用者に対し安全かつ快適な設備を提供しました。南部コミュニティセンター自家発電設備修繕、白鳥コミュニティセンター外壁漏水修繕及びエレベーター修繕を行い、適切な施設管理を行いました。所管各施設の建物・設備ともかなり老朽化しているため、日々の故障を修繕するだけでなく、設備の耐用年数や適切な更新時期を把握しメンテナンスする必要があります。			生涯学習課	C
(4) 指導者の育成・確保・活動の促進 ・生涯学習活動をサポートする指導者・ボランティアを育成・確保しながら、地域での活動を支援します。また、適切な助言・指導のできる専門員、生涯学習アドバイザーの設置を図ります。		施策に着手することができませんでした。 文化協会、女性の会、生涯学習講座講師等と連携して各種研修の情報提供及び参加促進を行い指導者の育成に努めます。			生涯学習課	E

●施策目標に対する市民満足度				単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
生涯学習活動の充実				%	18.7	↗	23.2

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値						目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 生涯学習講座・教室などへの参加者数	人	1,892	1,914	712	778	1,795	1,849	2,000		2,100
(2) 中央公民館利用者数	人	83,199	69,045	27,045	23,577	54,717	32,235	85,000		85,000
(2) 南部コミュニティセンター利用者数	人	27,527	36,527	17,843	12,570	24,499	16,905	29,000		29,000
(2) 白鳥コミュニティセンター利用者数	人	42,717	36,614	21,887	21,128	30,257	37,690	45,000		45,000
(2) 図書館利用者数	人	37,869	30,693	20,951	30,939	31,087	31,042	43,000		43,000

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】			
(2-1)	生涯学習講座・教室開催事業	生涯学習課	学習需要に対応し、さまざまな学習プログラムをもとに、生涯にわたって行うことができる生涯学習講座の開催は必要と考えます。			現状維持
(2-2)	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	図書館	読み聞かせなどの事業を継続するとともに、館内の配架や掲示について見直すなど利用者目線の図書館運営を目指します。			現状維持

施策の今後の方針【ACTION】	市民にとって、安心・安全で快適な施設整備を図るとともに、市民にとって身近で参加しやすい生涯学習講座の充実に努めます。					
------------------	------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》										
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日		
(2-1)	生涯学習講座・教室開催事業					生涯学習課	生涯学習グループ	令和6年5月8日		
■総合計画の位置づけ										
基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち					重点施策		
	施策目標	2	生涯学習の充実							
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実							
	主要事業		生涯学習講座・教室開催事業							
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する									
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する									
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する									
	<div><div>3 すべての人に 健康と福祉を</div><div>4 質の高い教育を みんなに</div><div>10 人や国の不平等 をなくそう</div></div>									
■事業内容【PLAN】										
事業目的	市民の生涯学習ニーズにこたえるため、子どもから高齢者までを対象としたさまざまな教室・講座を開催し、学習機会を提供します。					主な協働・ 関連団体等				
事業概要	自らの地域の歴史・文化を学ぶことができる生涯学習講座を企画し、開催します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等			
事業の開始・ 終了	開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10	年度				

■事業費(単位:千円)【DO】											
事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)				
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)			
	生涯学習講座講師謝礼	360	生涯学習講座講師謝礼	16	生涯学習講座講師謝礼	16	生涯学習講座講師謝礼				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	合 計	360	合 計	16	合 計	16	合 計				
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)				
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 生涯学習講座・教室などへの参加者数			人	1,892	1,914	712	778	1,795	1,849	2,000	2,100
指標の分析	新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行に伴い、市民が講座へ参加しやすい状況となったため、以前に近い参加者となりました。										
■事業の評価【CHECK】											
項目	評価視点					評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか					新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行に伴い、市民が講座へ参加しやすい状況となったため、以前に近い参加者数となったことから、今後も講座を継続し、学習機会の提供を行う必要性があると判断しています。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性					前年を踏襲するのではなく、講座の申し込み状況から市民のニーズに合う講座を開催するように工夫しています。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか					生涯学習の活動の場として市民に提供する教育施設の為、公平・公正の観点から市が実施する必要があります。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果					生涯学習講座の開催及び生涯学習施設の維持は、総合計画の基本目標である「心豊かで文化を育む人づくりのまち」を実現するために必要な事業であり、教育基本法3条にある教育の機会均等に繋がります。					
■今後の進め方【ACTION】											
課長意見									方向性		
学習需要に対応し、さまざまな学習プログラムをもとに、生涯にわたって行うことができる生涯学習講座の開催は必要と考えます。									現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-2)	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用					図書館	図書グループ	令和6年5月23日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち					重点施策	
	施策目標	2	生涯学習の充実						
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実						
	主要事業		生涯学習関連施設の整備充実・有効活用						
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する								
									
■事業内容【PLAN】									
事業目的	インターネットが普及する中、図書の購入により、読書会やおはなしの会を通し、本に触れ合う環境づくりを目的とします。					主な協働・ 関連団体等			
事業概要	生涯学習ニーズにあわせた蔵書の充実や親子の触れ合い・仲間づくりの機会を増やす「おはなしの会」や「読書会」を開催します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等			
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	図書購入費	4,428	図書購入費	4,400	図書購入費	4,400	図書購入費	4,400
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	逐次刊行物購入費	1,019	逐次刊行物購入費	975	逐次刊行物購入費	975	逐次刊行物購入費	975
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	資料情報借上料	558	資料情報借上料	585	資料情報借上料	585	資料情報借上料	585
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	視聴覚資料購入費	597	視聴覚資料購入費	600	視聴覚資料購入費	600	視聴覚資料購入費	600
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	6,602	合 計	6,560	合 計	6,560	合 計	6,560
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値						目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度	
(2) 図書館利用者数	人	37,869	30,693	20,951	30,939	31,087	31,042	43,000	43,000	

指標の分析	コロナ禍が終息に向かい利用者数が回復してきましたが、目標値には届いていないため、図書館の魅力化を図り利用者を増やす必要があります。
-------	-------------------------------------------------------------------

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	年間を通して多くの利用があることから市民ニーズの高い施設であり、本や絵本とのふれあう機会づくりを行うことは生涯学習の充実という観点からも必要性の高い事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	限られた予算内で、市民ニーズや社会情勢などを考慮して購入資料を選び、有効活用できるよう努めました。また、月1回の読書会を継続して行ったほか、ボランティアによる乳幼児や小学校低学年対象の読み聞かせを復活させました。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	読み聞かせや読書会のボランティア団体の協力を得ることで、本や絵本とふれあう機会を提供することができるため、市が主体となり団体と協働して実施する必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	図書館における本事業は、生涯学習の充実を図るために必要な事業であり、市民に対し本とふれあう機会を提供することにより心豊かで文化をはぐくむ人づくりにつながります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
読み聞かせなどの事業を継続するとともに、館内の配架や掲示について見直すなど利用者目線の図書館運営を目指します。	現状維持